

令和元年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(厚生労働省1(I-4-1))

* 厚生労働省では、基本目標>施策大目標>施策目標を設定して、政策を実施しています。

施策目標名(政策体系上の位置付け)	政策医療を向上・均てん化させること(施策目標 I-4-1) 基本目標 I: 安心・信頼してかかれる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること 施策大目標4: 国が医療政策として担うべき医療(政策医療)を推進すること		担当 部局名	医政局医療経営支援課 医政局研究開発振興課	作成責任者名	医療経営支援課長 樋口 浩久 研究開発振興課長 伯野 春彦
施策の概要	歴史的・社会的な経緯等により他の設置主体での対応が困難な医療や、国民の健康に重大な影響のある疾患に関する医療については、国の医療政策として担うべきもの(政策医療)として、全国的な病院ネットワークを有する国立病院機構や国立高度専門医療研究センター(ナショナルセンター)において着実に実施しているところであり、引き続き、こうした医療の提供等を確実に実施していくことにより、政策医療を向上・均てん化させる。(なお、独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)に基づき、独立行政法人国立病院機構及び国立研究開発法人国立高度専門医療研究センターの評価については、主務大臣が評価を実施している。)					
施策実現のための背景・課題	1	政策医療(国の医療政策として担うべき医療)を継続的に実施すること。				
各課題に対応した達成目標	達成目標/課題との対応関係			達成目標の設定理由		
	目標1 (課題1)	医療の提供、臨床研究、教育研修及び情報発信などを行い、効率的かつ効果的に、国民の健康に重大な影響のある特定の疾患等に係る医療や高度かつ専門的な医療、すなわち政策医療を向上・均てん化させる。			政策医療(国の医療政策として担うべき医療)を提供するため、独立行政法人通則法第30条及び第35条の5で定める中期計画及び中長期計画から、必要な指標を設定している。	

達成目標1について

測定指標(アウトカム、アウトプット) ※数字に○を付した指標は主要な指標	基準値		目標値		年度ごとの目標値					測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠
	基準年度	目標年度	年度ごとの実績値							
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
① 治験受入件数(製造販売後臨床試験を含む) (アウトプット)	1,563件	平成28年度	第4期最終年度目標値を第3期最終年度比で20%増	令和3年度	平成28年度実績に対して4%増(1,626件)	平成28年度実績に対して8%増(1,688件)	平成28年度実績に対して12%増(1,751件)	平成28年度実績に対して16%増(1,813件)	平成28年度実績に対して20%増(1,876件)	独立行政法人国立病院機構及び国立研究開発法人国立高度専門医療研究センターは、中期計画及び中長期計画において治験を推進することを目標としている。新薬・新医療機器等の研究及び治験を実施することで、その有効性や安全性の検証のもと新規開発が促進される。より良い医療をより早く患者に提供することを目的とした政策医療推進のため、臨床研究における治験受入件数を測定指標とし、過去の実績を踏まえ目標値を第4期最終年度目標値を第3期最終年度比で20%増とした(平成28年度実績:1,563件、平成29年度実績:1,991件)。
② 発表論文数(掲載に専門家の審査が必要となる国際的に評価される専門的学術雑誌に掲載された学術論文) (アウトプット)	5,075件	平成28年度	第4期最終年度目標値を第3期最終年度比で10%増	令和3年度	平成28年度実績に対して2%増(5,177件)	平成28年度実績に対して4%増(5,278件)	平成28年度実績に対して6%増(5,380件)	平成28年度実績に対して8%増(5,481件)	平成28年度実績に対して10%増(5,583件)	独立行政法人国立病院機構及び国立研究開発法人国立高度専門医療研究センターは、中期計画及び中長期計画において臨床研究を推進することを目標としている。国際的に評価される専門誌等で論文を発表することで、新たな知見の普及や更なる研究の推進につながることから、発表論文数を測定指標とし、過去の実績を踏まえ目標値を第4期最終年度目標値を第3期最終年度比で10%増とした(平成28年度実績:5,075件、平成29年度実績:5,505件)。
③ 研修会受入人数 (アウトプット)	358,161件	平成28年度	第4期最終年度目標値を第3期最終年度比で15%増	令和3年度	平成28年度実績に対して3%増(368,906件)	平成28年度実績に対して6%増(379,651件)	平成28年度実績に対して9%増(390,395件)	平成28年度実績に対して12%増(401,140件)	平成28年度実績に対して15%増(411,885件)	独立行政法人国立病院機構及び国立研究開発法人国立高度専門医療研究センターは、中期計画及び中長期計画において医療従事者の育成を積極的に行うことを目標としている。研修会を実施することで、医療従事者の育成を積極的に行い、先端医療の習得と普及を促進する。このような教育研修を通じて政策医療を推進するため、研修会受入人数を測定指標とし、過去の実績を踏まえ目標値を第4期最終年度目標値を第3期最終年度比で15%増とした(平成28年度実績:358,161件、平成29年度実績:387,608件)。
4 ホームページアクセス件数 (アウトプット)	99,305,124件	平成28年度	第4期最終年度目標値を第3期最終年度比で20%増	令和3年度	平成28年度実績に対して4%増(103,277,329件)	平成28年度実績に対して8%増(107,249,534件)	平成28年度実績に対して12%増(111,221,739件)	平成28年度実績に対して16%増(115,193,944件)	平成28年度実績に対して20%増(119,166,149件)	独立行政法人国立病院機構及び国立研究開発法人国立高度専門医療研究センターは、中期計画及び中長期計画において情報の発信を行うことを目標としている。ホームページにおいて医療従事者のみならず一般国民を対象とした医療情報(疾病予防対策やセミナー開催等の国立病院機構及び国立高度専門医療研究センターの取組)を発信することで、全国民が医療への理解を深め医療への参画機会を得ることができる。このような情報発信を通じて政策医療を推進するため、ホームページアクセス件数を測定指標とし、過去の実績を踏まえ目標値を第4期最終年度目標値を第3期最終年度比で20%増とした(平成28年度実績:99,305,124件、平成29年度実績:135,515,992件)。

(13)	独立行政法人国立がん研究センター設備整備費補助金 (平成26年度)	-	-	-	1,2,3,4	国立研究開発法人国立がん研究センターは、がんその他悪性新生物に係る医療に関して、研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修、情報発信及び政策提言等を行うことにより、政策医療の向上を図り公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としている。同センターが行う研究等の設備整備にかかる経費の一部を補助することにより、業務の円滑な実施及び推進を図る。 国立研究開発法人国立がん研究センター設備整備費補助金を交付することにより、同センターが行うがんその他悪性新生物に係る医療に関して、研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修、情報発信及び政策提言等が円滑に実施され、政策医療の向上・均てん化の促進が図られると見込んでいる。	-
(14)	独立行政法人国立循環器病研究センター設備整備費補助金 (平成25年度)	-	-	-	1,2,3,4	国立研究開発法人国立循環器病研究センターは、循環器病に係る医療に関して、研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修、情報発信及び政策提言等を行うことにより、政策医療の向上を図り公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としている。同センターが行う研究等の設備整備にかかる経費の一部を補助することにより、業務の円滑な実施及び推進を図る。 国立研究開発法人国立循環器病研究センター設備整備費補助金を交付することにより、同センターが行う循環器病に係る医療に関して、研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修、情報発信及び政策提言等が円滑に実施され、政策医療の向上・均てん化の促進が図られると見込んでいる。	-
(15)	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター設備整備費補助金 (平成25年度)	0 (1億円)	-	-	1,2,3,4	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターは、精神・神経疾患等に係る医療に関して、研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修、情報発信及び政策提言等を行うことにより、政策医療の向上を図り公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としている。同センターが行う研究等の設備整備にかかる経費の一部を補助することにより、業務の円滑な実施及び推進を図る。 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター設備整備費補助金を交付することにより、同センターが行う精神・神経疾患等に係る医療に関して、研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修、情報発信及び政策提言等が円滑に実施され、政策医療の向上・均てん化の促進が図られると見込んでいる。	-
(16)	独立行政法人国立国際医療研究センター設備整備費補助金 (平成26年度)	-	-	-	1,2,3,4	国立研究開発法人国立国際医療研究センターは、感染症その他の疾患に係る医療に関して、研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修、情報発信及び政策提言等を行うことにより、政策医療の向上を図り公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としている。同センターが行う研究等の設備整備にかかる経費の一部を補助することにより、業務の円滑な実施及び推進を図る。 国立研究開発法人国立国際医療研究センター設備整備費補助金を交付することにより、同センターが行う感染症その他の疾患に係る医療に関して、研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修、情報発信及び政策提言等が円滑に実施され、政策医療の向上・均てん化の促進が図られると見込んでいる。	-
(17)	独立行政法人国立成育医療研究センター設備整備費補助金 (平成26年度)	-	-	-	1,2,3,4	国立研究開発法人国立成育医療研究センターは、成育に係る疾患に係る医療に関して、研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修、情報発信及び政策提言等を行うことにより、政策医療の向上を図り公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としている。同センターが行う研究等の設備整備にかかる経費の一部を補助することにより、業務の円滑な実施及び推進を図る。 国立研究開発法人国立成育医療研究センター設備整備費補助金を交付することにより、同センターが行う成育に係る疾患に係る医療に関して、研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修、情報発信及び政策提言等が円滑に実施され、政策医療の向上・均てん化の促進が図られると見込んでいる。	-
(18)	独立行政法人国立長寿医療研究センター設備整備費補助金 (平成25年度)	-	-	-	1,2,3,4	国立研究開発法人国立長寿医療研究センターは、加齢に伴う疾患に係る医療に関して、研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修、情報発信及び政策提言等を行うことにより、政策医療の向上を図り公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としている。同センターが行う研究等の設備整備にかかる経費の一部を補助することにより、業務の円滑な実施及び推進を図る。 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター設備整備費補助金を交付することにより、同センターが行う加齢に伴う疾患に係る医療に関して、研究・開発、医療の提供、医療従事者の研修、情報発信及び政策提言等が円滑に実施され、政策医療の向上・均てん化の促進が図られると見込んでいる。	-

施策の予算額・執行額	区分		30年度	令和元年度	令和2年度要求額	政策評価実施予定時期(評価予定表)	平成30年度
	予算の状況 (千円)	当初予算(a)	42,779,155	44,805,410	45,465,997		
		補正予算(b)	2,208,802	0			
		繰越し等(c)	-744,614	853,239			
		合計(d=a+b+c)	44,243,343	45,658,649	45,465,997		
	執行額(千円、e)		43,911,184				
	執行率(%、e/d)		99.2%				

関連税制	-		
------	---	--	--

施策に関係する内閣の重要施策 (施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称	年月日	関係部分(概要・記載箇所)
	独立行政法人改革等に関する基本的な方針	平成25年12月24日	【独立行政法人国立病院機構】 診療事業は全て自己収入により行っていることにかんがみ、積立金は、次期中期目標期間中に必要な施設整備等の財源に充てられるよう配慮する。